

大須賀海岸

2.3km にわたって広がる大須賀海岸は、東北地方にある端から端まで歩いて横断できる海岸の中で最大級の浜です。この浜は、砂の上を歩くときしむような変わった音がする白い「鳴き砂」で覆われています。

種差海岸が一望できる大須賀は、1994 年に「日本の渚百選」に選ばれました。しかし、水が気持ちよさそうに見えるかもしれませんが、離岸流が危険なため、大須賀での遊泳は禁止されています。

タイドライン（満潮時に波が寄せる位置）の先には海浜植物が生育しています。海浜植物の近くの地面を注意深く探すと、イソコモリグモ (*Lycosa ishikariana*) の巣である小さな穴が見つかります。イソコモリグモは強力な脚で砂中に穴を掘ってその中に隠れ、気づかず通りかかった獲物に飛びかかります。メスはたいていオスより大きい巣穴を掘ります。